

ふれまち八多

第 202 号

<編集・発行>



八多ふれあいの
まちづくり協議会
TEL 078-982-0514

あけましておめでとうございます



さて、消防団は八多町にとつては消火活動だけではなく、災害防止活動でも頼みの綱です。幸い八多町では最近大きな災害は起つていませんが、日本各地では地震が頻発していますし、気象条件の変化により台風も大型化し、雨の降り方も変わつてきました。災害はいつ起きるか分かりませんので、普段からの備えが重要です。日頃からの消防団の見守り活動や年末警戒などは本当にありがたく思い、感謝しております。

最近は消防団も少子・高齢化の影響で北消防団全体の充足率は86%となっています。

現在、八多町の消防団員の定数は170名ですが、団員数は160名（充足率94%）で、北消防団では2番目の高率です。今後とも、自分の町は自分たちで守るという意識を持って防災意識を高め、みんなで安全・安心なまちを作りましょう。

最後に、この訓練でもご指導いただいた北消防署員のみなさんにはお世話になりました。

11月19日（日）、八多町公園で令和5年度八多消防団・防コミ合同秋期訓練を実施しました。午前9時に開会式、参加者は八多消防団員約110名、八多防コミ約30名。消防団は規律訓練の後、分団対抗小型動力ポンプ操法、最後は中継送水訓練を実施。防コミは三角巾法、各種搬送と水消火器取扱訓練を実施しました。

注目の分団対抗小型ポンプ操法は各分団とも日頃の訓練成果を発揮、熱戦となりました。結果は以下の通りです。

優勝	第6分団2班
準優勝	第5分団2班
3位	第1分団



八多消防団・防コミ合同秋期訓練

北区連合自治協議会と区長との懇談会

10月30日(月)標記の会が北神区役所で開催され、「ふれまち八多」199号に掲載した八多町自治協議会からの要望に文書回答をいただきました。

※なお、1. の屏風辻・瀧・宮坂線拡幅要望については北建設事務所からの回答「ふれまち八多」201号をご覧ください。

2. 八多・淡河バスの乗車利用促進について

- ① 八多淡河バスの運行計画については、利用状況や収支目標などを踏まえて地域と神姫バスと市で検討し、令和2年10月より現在のダイヤ・ルートで運行しております。今後も引き続き、地域の乗車ニーズや利用状況、収支等を見極めながら、地域の実情に応じた適正な運行内容となるよう地域のみなさまや事業者とともに取組を進めてまいりたいと考えております。
- ② 神戸市の地域コミュニティ交通に対する支援制度では、住居が点在し人口密度が低い田園地域においては、市街地と比較して効率的な運行が難しく収入に対して運行経費が高くなることから、市街地よりも手厚く支援を行っています。また、今年度も引き続き、通常の運行支援に加えて、原油価格高騰の影響に伴う地域コミュニティ交通の運行継続に係る経費の支援を補正予算で計上しています。

今後も、地域のより多くの方に八多淡河バスをご利用いただけるよう、引き続き広報活動の支援を行ってまいりますので、地域のみなさまも、乗って支える活動に取り組んでいただくようお願いいたします。

(都市局交通政策課)

3. 義務教育学校八多学園の教育環境の充実について

地域や保護者の皆様のお力添えのもと、令和5年4月、義務教育学校八多学園がスタートいたしました。開校にあたりましては、多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。

八多学園では、中学校教員による5・6年生への教科指導や、小学校教員と中学校教員の連携による協同授業を行い、学力の向上を図るとともに、複数の教員

の連携により、一人一人に寄り添った、きめ細かな教育を提供しています。

また、「グローバル・コミュニケーション力」の育成という観点から、英語力に加え、異文化理解力やコミュニケーション能力などを育むため、小学校1年生から外国語活動を実施するとともに、9月には、インド、アフガニスタン、パキスタンの学生と、お互いの国の流行や文化などを紹介し合うオンライン交流を実施いたしました。

さらに、2学期からは、農業体験から収穫・販売まで一連の流れを探究するキャリア学習も新たに開始しています。

地域や保護者の皆様のご意見も伺いながら、今後も、市内の里山エリア初の義務教育学校として充実した教育を子供たちに提供できるよう、努めてまいります。

八多学園のこうした特色ある教育活動につきましては、ご要望のとおり、しっかりと地域の子育て世帯の皆様に周知していく必要があると考えています。そのため、八多学園の取組みを紹介するパンフレットを新たに作成し、対象地域の幼稚園や保育園等で紹介しています。さらに、北区公式SNS等の活用など、様々なツールを用いて積極的に発信していきます。

また、近隣校区からの指定外通学につきましては、将来的な検討課題と捉えております。まずは、保護者の皆様に子供をぜひ進学させたいと思っていただけるような魅力ある学校づくりに、より一層取り組んでまいりたいと考えております。

今後の八多学園の教育活動の更なる充実に向けて、引き続きご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(教育委員会事務局総務部総務課)

令和5年度 八多学園のびのび広場 (ふれあいタイム)

★★3学期の予定★★



日	曜日	時 間	担当団体	学 年
2月2日	金	15時55分～16時40分	自治会	5・6年
2月16日	金	15時55分～16時40分	民生	3・4年
3月1日	金	14時55分～15時40分	青少協	1・2年



出前トーク 「いつも使っているプラスチック どうやってリサイクルされているの?」



12月6日(水)、ふれあいセンターに「はた資源回収ステーション」ができたこともあり、上記のテーマでプラスチックがどうやってリサイクルされているかの出前トークを実施しました。講師は環境局業務課の清水充則係長。八多町各地区より約40名の参加がありました。

プラスチックゴミは増え続けており、海が汚染されて魚などの生態系にも影響が出て大きな環境問題となっています。神戸市では質の高いプラスチック資源等を回収し、「回り続けるリサイクル」を実践する拠点として資源回収ステーションを市内各地に設置(現在13カ所)しています。八多は11番目です。洗って乾かしてから分別して回収ボックスに出すことによって、資源がプラスチックとして再利用されます。ご協力よろしくお願いします。

八多学園の生徒との茅刈!

11月25日(土)、八多学園の生徒達と恒例の茅刈を実施しました。この行事は平成17年12月から18年間も続いている伝統行事(途中コロナ禍の中止あり)で、刈り取った茅はふれあいセンターの茅葺き民家の差し茅工事(10年ごとに実施)の材料として使用されてきました。材料費の節約で貯金助かりました。生徒が茅刈をしているのはおそらく全国でも八多町だけだと思います。来年は移築後30年を迎えますので、日々大修理を実施しなければなりません。八多町でも純粋に茅葺き民家として残っているのは2軒ぐらいだと思います。今後とも貴重な財産としてふれあいセンターの茅葺き民家をしっかりと守っていきたいと考えています。

今年は「八多学園」になって初めての茅刈で7年生・8年生の20名が参加。9時にふれあいセンターの芝生広場に集合、最初の出発式後、4班に分かれて徒歩で茅場の小路畠池に向かいました。

大人は自治会・ふれまちの役員、八多学園の教職員、PTAの役員が参加。約1時間30分茅刈体験をしました。その後、ふれあいセンターに戻り茅葺き職人

塩澤実さんの講演を聴きました。茅葺き民家は日本だけではなく世界各地に存在し、環境面からも注目をされているそうです。

最後はおいしいカレーをいただいて12時30分頃解散。お疲れ様でした。



北消防署からのお知らせ

北消防署管内の火災原因で一番多いのは、焼却火によるものです。
焼却による火災の多くは、風が弱くても枯草や落葉などの近くで焼却することで発生しています。さらに、自宅の庭や敷地で焼却することにより、思いもよらず一気に燃え広がり、自宅や裏山に延焼しています。野焼きの炎が広範囲に燃え広がれば、初期消火で消火することは困難になります。農業を営むためにやむを得ず焼却を行う場合は、次の点に注意をして行ってください。

<枯草の焼却を実施するときの手順>

① 着火する前に必ず周囲を確認

焼却する場所付近に、枯草や落葉が堆積していないか、必ず周囲を確認。

このような場所では、風が弱くても、少量の枯草であっても絶対に行わない。



② 安全な場所を確保する

焼却場所周囲(幅6m以上)の枯草を刈り取り、田畠の真ん中に枯草を寄せ集める。

必ず、焼却前に消火用の水を準備する。

③ 小分けにして着火

一度に大量に燃やす、小分けにして順次焼却をする。

④ 焼却中はその場を離れない

その場を離れず、焼却を見守る。

もし、焼却火が拡大しそうになれば、躊躇せずに消火する。

⑤ 焼却後は確実に消火

準備していた水で消火し、確実に消えているかを確認。

★ 風が強くなると、飛び火による火災の危険性が高まります。
すぐに中止し、確実に消火してください。

1月から5月に多発しています。

空気が乾燥し、周囲に枯草や落葉が堆積している1月から梅雨入りにかけて野焼き火災が多発しています。

特にこの季節ご注意ください。

☆焼却を行うときは、消防署に届け出をお願いします。

(神戸市火災予防条例54条)

「いつ、どこで、誰が、何を燃やすのか」を事前に電話連絡してください。

この届出は、火災と間違えて消防車の出動を防ぐためのもので、消防署が焼却の許可をするものではありません。

【連絡先】 北神分署 981-0119

八多淡河バス利用者数(合計・日平均)

令和5年度 年間目標 11,190名

	令和5年度												11月		12月			
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝
利用者数	1,061	57	1,015	69	1,137	43	1,086	53	944	80	1,181	62	1,149	92	1,049	132		
運行日数	20	10	20	11	22	8	20	11	20	11	20	11	21	10	20	10		
月別平均利用者数	53.1	5.7	50.8	6.3	51.7	5.4	54.3	4.8	47.2	7.2	58.7	6.2	54.7	9.2	52.5	13.2		
平均	平日・土日祝		合計6,788人(1,131人/月)(36.9人/日)															

はたっこめづくり、穫れた学園米！

11月25日 八多学園では7、8年生が茅刈り、そして全校あげてのオープンスクールの日でしたが、5年生（寺本祥子学級）は半年以上かけて学園内の田んぼで取り組んだ稲作フル体験授業「はたっ米（こめ）づくり」が完了したことを祝って収穫祭が行われました。保護者や地域の方々を招待して和やかな雰囲気の中、5年生7名全員が米作りの苦しさ、楽しさなどをたっぷり伝え、感動を共有することができました。

生徒のみなさんからは、「これだけ大変なことを家族だけでしていたのはすごいと思った。」「たくさんのおいを刈れて、終わったとき達成感がありました。」というかわいい感想をいただき、収穫を感謝しました。

八多の農業も後継者問題が大きな課題です。この活動を通して、農業や米作りに少しでも関心を持っていただき、その方面に進んでくれる子供たちが一人でも増えれば幸いです。

5月1日 播種

塩水で選別して、水につけていた種もみを土に播きました。廊下に置いてブルーシートをかけて、芽が出るのを待ちます。毎日じょうろで水をやりました。



5月30日 田植え

約1か月種もみから育ててきたイネの苗を田んぼに植えました。目印をつけたロープを張って、真っすぐそろうようにていねいに植えていきました。



9月27日 稲刈り

少し前に狩俣さんの田んぼで稻刈りをしたので、慣れたもので、あつという間に作業が終わりました。刈る人、束ねる人、運ぶ人、干す人と役割分担してスムーズでした。



10月16日 脱穀

足踏み脱穀機を使って、脱穀をしました。干していたイネがたくさん落ちてばらばらになってしまっていたこともあり、とても根気のいる作業でした。2時間かかってすべて脱穀し終え、保健室の体重計で重量を量りました。



11月25日 収穫祭、ここでみなさんにはクイズです。

①私たちは何で種もみを選別したでしょう？

A お湯 B 塩水 C 薬が混ざった水

②田植えをするときに心配だったことは何でしょう？

A 稲がちゃんと育つか B 水がなくなるか

C 何も心配していない

③稻刈りをしたときに役割分担をしてやりました。いくつに役割分担したでしょう？ A 2つ B 7つ C 4つ

④脱穀の後、約何キログラムのものがとれたでしょう？

A 約20キロ B 約5キロ C 約15キロ

正解はページの欄外に…。



当日はJリーグの試合がホームで行われ、見事勝利したヴィッセル神戸は初優勝を成し遂げました。収穫の多い1日でしたね！ちなみにヴィッセル神戸のGKメギオラーニ選手が直前に学校訪問していましたが、優勝を誓っていましたが、見事約束を果たしてくれました。

学校前の歩道橋の表示を「八多学園前」に

「ふれまち八多」200号でお知らせしたように学校前の歩道橋の表示が今も「八多小前歩道橋」のままになっていることについての八多婦人会からの変更要望に対して、北建設事務所から回答がありました。

要望はもっともので早速「八多学園前歩道橋」に変更しますとのことでした。ただし、4年前に歩道橋の点検（5年ごとの実施）が終わっているので、今回はとりあえず「八多学園前歩道橋」のシールをはり、ペンキの塗り替えなどの補修については来年の点検時に検討しますという内容でした。



第3回 2月4日(日)

資源回収

協力よろしくお願いします。
今年は「ふれまち30周年」の節目の年です。みんなで顔の見えるぬくもりのある八多町をつくりたいものです。ご容がまだはつきりしない状況ですが、1日も早い復興を願うのみです。さて、路大震災を思い出しました。被害の全です。今年は「ふれまち30周年」の節目の年です。

編集後記

お知らせ

八多ふれあいのまちづくり協議会30周年行事について

八多ふれあいのまちづくり協議会は阪神淡路大震災前年の平成6年5月24日に発足し、令和6年に30周年の節目の年を迎えます。先日12月の役員会で30周年式典の日程等を決定しましたので、お知らせします。

日 時 令和6年5月26日(日) 午前中
場 所 ふれあいセンター

講 師 神戸大学大学院人文学研究科特命助教 井上 舞先生

※演題は未定ですが、「八多周辺の郷土資料の発見・保存の大切さについて」ご講演をいただく予定。

今後、式典内容については詳細を決定していきます。ご協力よろしくお願い申しあげます。

西畑 森本 茂樹 様 満中陰志として
*八多町善意銀行にて芳志をいただいた方

ありがとうございました